

自治基本条例をつくる会 会議概要

第39回会議	
開催日時	平成20年12月10日（水）18:30～20:50
開催場所	山陽小野田市役所 第2委員会室
出席会員	12名 岩崎秀司、岩本信子、岡村啓二、河野朋子、木林紀生男、草田和枝、酒井敏正、杉本保喜、徳重洋子、林久芳、平原廉清、若松勇輔
事務局	市長公室長、秘書行革課主幹
協議概要	【配布資料】 ・大項目「議会」小項目「議員」のまとめ（1枚 No4） ・林会長素案 1 前回の会議概要と書記まとめ（No4）について → 承認 2 会員提出テーマ「地域コミュニティ」について「現状と課題および解決策」について協議をおこなった。 （主な意見） ・例えば、特定目的の団体が地域コミュニティとなるには、地域との接点ができ、地域の課題に向けて取り組むことにより初めて公益活動となる。 ・地域コミュニティは住民自治の最少単位であり、協働の主体となる市民活動（公益活動）団体とは役割が異なるのではないか。 ・地域コミュニティと市民活動団体は協働の主体として並列である。 ・当市の「ふるさとづくり協議会」活動は全国的にも希少価値があり、是非、条例に謳うべきである。 ・ふるさとづくり協議会の位置づけは地域コミュニティを活発するための手段である。 ・地域内でのつながりが希薄になり、助け合う意識が乏しい。 ・住民が行政に依存する度合いが強い。 ・自治会へ加入せず自治意識に乏しい人がいる。 （解決策） ① 市民は、地域の中で安心安全に暮らしていけるよう、自主的に自治会等のコミュニティ活動に参加し、交流しながら地域課題の解決にむけて郷土愛をもって行動する。 ② 市は、地域コミュニティ活動を促進するため活動に協力し積極的な支援に努める。

3 その他

- ・次回、林会長素案について代案を含めて意見交換を行う。

【次回の開催について】

第40回会議：平成20年12月24日（水）18：30～第1委員会室